

県立山香農業高等学校

母校

3月1日に最後の卒業生51名を送り出し、山香農業高等学校が67年の歴史に幕を下ろしました。

これまで6700名を超える卒業生を輩出してきた同校は、昭和23年に県立日出高等学校の山香分校として創立されました。戦後の学制改革に伴った町村民の運動によって設置が内定した同分校は、はやくから農業教育機関の設置が望まれていた山香地域にとって待望の学校でした。

創立当時は山香小学校の3教室を借りて授業をしていましたが、昭和24・25年にかけて現在の山香苑の場所に新校舎が建てられました。新校舎建設の第一次予算が周辺の各町村によって出資されたことから、地域からの期待がうかがえます。

その後も、町をあげての積極的な取組みにより現在地に校舎が竣工、定時制から全日制課程への移行が認められ、昭和39年には悲願の独立が叶えられました。

閉校が決まってからは、「閉校を惜しまれるようにしたい。多くの人の記憶に残ってほしい。」と、生徒達は学習活動のみならず、学校行事や地域との交流に一層力を入れました。学友会(生徒会)を中心に取り組んだ(あしあとを残す閉校プロジェクト)では、県高校総合体育大会開会式や大分県農業クラブ大会への全員参加、山香こども園の園児を招いた流しそうめん交流大会、卒業生や地域の方々など多くの参加協力を得た体育大会・農業文化祭などを通し、仲間や地域との絆を深めました。閉校式では、森本学友会長が「母校はなくなるが、私たちが学んできた思いは消えない。幕引きができたことを心から誇りに思う。」とあいさつをし、校旗が返納されました。



1 お世話になった先生方に花束を贈呈。(卒業式にて) 2 校旗返納の様子。(閉校式にて) 3 「しっかり食べて、社会に出ても頑張る」と大和寮の石川さんと調理員の高橋さん・安部さん・宇留嶋さん、栄養士の都甲さん。 4 親月祭へ7回目の出展。「希望・ゆめ」をテーマにした作品。 5 農業経営科の実習風景。 6 中山香駅へ鉢植え等を寄贈。(ファイナルプロジェクトにて) 7 生活科学科最後の調理実習では、記念に大きなケーキを作りました。 8 「クリーン大作戦」で校舎から甲尾山までを清掃。 9 自分たちで製造したジャムなどを販売。(農業文化祭にて) 10 「まごて」によるアロマハンドトリートメントの様子。(農業文化祭にて)

沿革

昭和23年4月1日

大分県立日出高等学校山香分校として創立

昭和38年4月1日

定時制課程から全日制課程に移行

昭和39年4月1日

大分県立山香農業高等学校として独立

昭和41年4月1日

文部省指定自営者養成農業高等学校(現:文部科学省農業経営者育成高等学校)として発足

昭和42年11月1日

寄宿舎竣工「大和寮」と命名

昭和53年11月2日

創立30周年記念式典

平成元年12月1日

創立40周年記念式典

平成6年4月1日

学科改編(農業経営科、園芸流通科の発足)

平成7年4月1日

学科内容改編(生活科学科に調理・福祉コース)

平成10年11月21日

創立50周年記念式典

平成16年4月1日

学科改編(従来の農業経営科と園芸流通科を改編)

平成20年11月8日

創立60周年記念式典